

DOCTOR'S MAGAZINE

10

ドクターズマガジン

ドクターの肖像

慶應義塾大学病院 院長

武田 純三

Catch the Wave

国立成育医療研究センター 器官病態系内科部長

賀藤 均



慶應義塾大学医学部 漢方医学センター

渡辺 賢治 診療部長

教育・臨床・研究を備えた専門機関
次世代医療としてニーズは高まっている

慶應義塾大学医学部漢方医学センターは、2008年4月に組織された教育・臨床・研究すべての機能を兼ね備えた数少ない漢方医学専門機関です。全国から志を持った医師が集結し、月のべ1,200名超が訪れる診療部外来にて難病の症状緩和や不定愁訴の治療などに取り組んでいます。

漢方医学はどの分野においても有効な治療手段で、次世代を担う新たな医療として注目を集めています。また、免疫力強化に焦点をもつ漢方医学は、病気そのものを取り除くことに焦点のある西洋医学と協調しながら治療に当たれば効率のいい医療が生み出せます。超高齢社会を迎えた今日、漢方医学への期待はますます高まることが予想され、幅広い対象領域についての確かな診断能力、西洋医学と漢方医学の高度な知識を持つ総合漢方医の育成は急務となっています。

当センターの後期臨床研修プログラム(専修医プログラム)は、高いレベルの漢方診療技術を修得するのみならず、西洋医学的診断能力も養い、総合医としての高いスキルの獲得と全人医療としての「逃げない医療」を実践することを目指します。西洋医学のベースを持ちつつも、漢方医学の豊富な知識を有するScientific Traditional

Physician が巣立つことを大いに期待しています。

専修医プログラムには2つのコースがあります。漢方専門医Aコースは、初期研修終了後にスタートするコースで期間は5年間です。研修終了後には内科認定医および漢方専門医の資格取得が可能です。漢方専門医Bコースは期間3年間の研修で、後期臨床研修を既に終了し、基本領域の専門医・認定医を取得(予定)の医師が対象となります。基本領域の専修医終了後に漢方医学を専門の一つに加えたい、または基本領域の専門医を維持しつつ漢方医学の専門家を目指したい医師に参加いただけたら幸いです。一人の医師として、わが国の漢方医学のリーダーとして活躍できるよう、全力でバックアップしますので安心して研修に挑んでください。

ご興味のある方は是非ご参加ください!!

◆KAMPO FIRST STEP CONFERENCE

日時：10月1日(土) 14:00～16:00

場所：慶應義塾大学信濃町キャンパス内
総合医科学研究棟1Fラウンジ

対象：専修医希望者

◆漢方ネットワークフォーラム

日時：10月6日(木) 19:00～20:30



場所：慶應義塾大学信濃町キャンパス内
総合医科学研究棟1Fラウンジ

*上記行事の申込み・問い合わせは、
keiokampoc@gmail.comまで
共に切磋琢磨いたしましょう!!

◆平成24年度専修医教育プログラム

受付期間：平成23年10月3日(月)
～平成23年10月31日(月)

*詳細はHP、質問・見学などは渡辺まで

DATA

慶應義塾大学医学部 漢方医学センター

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地

URL : http://www.keio-kampo.jp/ja_2/page11.html

E-mail : watanabekenji@a6.keio.jp

医局員数/24名

指導医数/5名

研修医数/6名



医師のための
医療機関情報サイト

公私立病院・クリニックをはじめ
大学医局や
自治体情報をカバー



症例一覧

各病院の症例情報を検索

抄録

医局・講座の抄録を掲載

教授からのメッセージ

教授からのメッセージを掲載